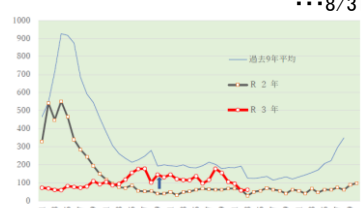
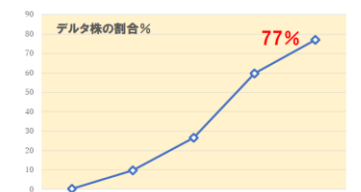
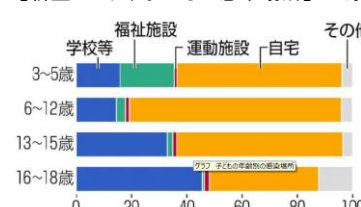


安佐医師会サーベイランス週報 第34週 令和3年 8月 23日(月)～令和3年 8月 29日(日)

地区	祇園	安古市	沼田	佐東	可部	高陽	安佐	白木	安佐市民病院	合計	傾向	コメント	
定点医療機関数	4	5	2	2	4	5	2	1	1	26			
対象人口	75,115	83,974	38,432	43,294	57,093	63,914	19,542	8,518		389,882			
定点数当り人口	18,779	16,795	19,216	21,647	14,273	12,783	9,771	8,518					
1 R S ウイルス 感染症	13				1					14	↓	<p>【第34週 安佐圏域での各種感染症の動向】</p> <p>1. RSウイルス感染症:15→14件・・・減少! 祇園13件 可部1件</p> <p>3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎:3→4件</p> <p>4. 感染性胃腸炎:32→38件</p> <p>6. 手足口病:2→0件</p> <p>8. 突発性発疹: 2→2件</p> <p>22. その他: 新型コロナ1件・・・K医院</p> <p>【安佐地区サーベイランス報告数の推移】 ・・・8/31現在</p>  <p>・報告数が減少、昨年と同じレベルまで落ち込み</p> <p>【広島県デルタ株の割合】・・・8/25現在</p>  <p>・デルタ株は感染リスク、入院リスク、死亡リスクはいずれも従来型の2倍(WHO)</p> <p>【新型コロナ、子どもの感染場所】・・・厚労省調査</p>  <p>・15歳以下の半数は自宅にて感染! ・8月の学校、福祉施設、運動施設のクラスター発生は7月の2倍～5倍! ・感染研の脇田所長「大人からもたらされる感染リスクを指摘」</p>	
2 咽頭結膜熱					1					1	↓		
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2		1						4	↑		
4 感染性胃腸炎	11	7	4		3	13				38	↑		
5 水痘						1				1	↑		
6 手足口病													
7 伝染性紅斑													
8 突発性発疹	2									2	→		
9 百日せき													
10 ヘルパンギーナ	4									4	↑		
11 流行性耳下腺炎		2								2	↑		
12-Aインフルエンザ(A型)													
12-Bインフルエンザ(B型)													
13 急性出血性結膜炎													
14 流行性角結膜炎		3								3	↑		
15 麻疹													
16 風疹													
17 MCLS(川崎病)													
18 髄膜炎(細菌性)													
19 髄膜炎(無菌性)													
20 マイコプラズマ肺炎													
21 クラミジア肺炎													
22 その他						1				1	→		
合計	31	14	4	1	5	15				70			

全医師届出義務の感染症(保健センター)

一言「**イトコール**」安佐医師会 **873-1840**にも連絡を頂けると助かります!

【急性ウイルス性肝炎、ペロ毒素産生腸管感染症(O157、26、など)、麻疹、風疹、つつが虫病、結核、オウム病、レジオネラ症、アメーバ赤痢、梅毒、AIDS・・・】

全会員に即情報
保健センターへの届出用紙有り

・15歳以下の半数は自宅にて感染!
・8月の学校、福祉施設、運動施設のクラスター発生は7月の2倍～5倍!
・感染研の脇田所長「大人からもたらされる感染リスクを指摘」